

市民参加実施記録

案 件	上下水道（伊達・大滝）料金統一（案）について
市民参加の方法	説明会
実施日時 及び場所等	平成28年9月9日（金） 19時00分～20時10分 大滝総合支所 2階大会議室
所管部課名	建設部水道課・下水道課・地域振興課
<p>【概要】</p> <p>1 開 会</p> <p>2 挨拶</p> <p>3 上下水道（伊達・大滝）料金統一（案）についての資料説明</p> <p>4 質疑応答</p> <p>○市民 合併した時に10年と決まっていたので、値上がりという点に関しては概ね仕方ないという気持ちでいますけれども、自宅の口径が分からないため、実際にいくらになるのかわかりません。今、上下水道合わせて4千円くらい払っていますが、今度は倍ぐらいいなるのですか。</p> <p>●市 家事用になりまして、毎月20トン程度使われていると思いますが、その場合は上下水道合わせまして、消費税抜きで7,075円になります。</p> <p>○市民 温泉を使っていますが、下水道の認定方法は変わりますか。</p> <p>●市 変わりません。</p> <p>○市民 より一層経済しないといけないですね。私は福祉施設に勤めていますが、使えば使うほど料金が高くなります。お風呂が物凄く大きく、施設の利用料を満額いただいたとしても、建物を維持していけるのかなど色々なことを考えてしまいます。</p> <p>●市 大口利用者へは個別に訪問して説明させていただいていますが、今回の料金統一による値上がりは下水道の影響の方が大きいです。</p> <p>○市民 言葉が悪いですが、確かに合併から10年経つと私たちも慣れてくるとは思いますが、今の説明の中に公平という言葉が出てくると、この部分だけ公平にするというのが、それ自体あまりにも考えていないし、将来的なことですが、ますます人口が減りますよね。当時から人口が400人以上減っていますよね。雪も多くて、虫も凄くて、ただでさえ住むのが大変なのに、さらに上下水道料金が上がる。温泉と自然だけでは人はもう来ません。言葉尻を取って悪いですが、そういう中で公平と言われても、やはり公平にはならないと思います。私は45年住んでいますけれども、温泉を利用させていただき、きれいな温泉に幸せを感じています。</p> <p>伊達の方と公平と言いますが、合併した時に、伊達の方々は、合併債により、色んな建物ができて、生活が豊かになってきている。大滝は、縮小、縮小でイベントもない、何もかも減ってきて、ここで言う言葉ではないかもしれませんが、そういう意味では寂</p>	

しいです。値上げ、値上げで本当に少ない年金で暮らしている方がいっぱいいます。一月にしたら、たいした額ではないかもしれないが、これから何年もとなると寂しいです。悪いですけど、こういう意味では公平ではないと思っています。

●市 水道料金も下水道料金もそうですが、先ほど説明させていただきましたが、独立採算が原則ということで、掛かる経費というのは、それぞれ料金をもって賄わなければなりません。現状では、大滝の水道の経費回収率が約半分、下水道につきましては2割程度という現実もあります。そういう意味の値上げでもあります。

○市民 10年前のことをきちんと分からないのでこれからお伺いしたいのですが、10年前に統一料金の設定を見送ったその理由はなんだったのか。それと料金の開きがいくらぐらいあって、それが見送りの理由になったのか。ひとつには、公共料金を合併と同時に値上げするというひとつの材料が出た時に、合併に疑問を持つということも有り得たのかなあという気もしないではないです。その当時から、色々収支バランスが取れてなかったという事実はあるかもしれないですけども、その当時の状況を説明していただきたい。それと伊達地区の方で収支というか利益率が上回っているということが、独立採算だから良いことではあるかもしれないが、果たしてこれは高い料金で設定されているから上回っているのか、大口使用量と小口の一般家庭の使用量との比率によって、大口の使用量によって収支バランスが取れていますという実態があるのか。それと大滝の下水道というのは、建設されてからまだ間もない。何年経過しているのか分からないですけども、そこら辺の維持管理費だとか、押し上げている部分が単に使用量が少ないということで、支出の部分が、公債費というのは建設時の借入金でどこから借りているのか。(財務局や金融機構という所から公的資金を借りている旨回答)

下水道を取り入れた大滝村の時代の経緯にも関わってくると思いますけれども、伊達市の下水道を建設した経過とか、どういう維持管理をしていて、伊達地区のやり方と大滝地区のやり方が違って、維持管理そのものから見直す必要があるのか。それと公債費を合併した伊達地区と大滝地区のそれぞれ下水道事業だとか水道事業だとかの、これを単純に大滝地区でこれだけ掛かっています、伊達地区ではこれだけしか掛かっていませんという比較の仕方です。統一料金を考えるうえで、これは適切な考え方なのかどうか。大滝地区の公債費の償還というのは、建設当時に借りたものを返しているものですか。何年まで続くのですか。

●市 おそらくずっと続くと思います。というのは、今は30年の償還なのですが、30年経った時には、また今の施設が古くなって改修しなければならない。自己資金がない以上は、常に借入しながら運営していくという方法を取らざるを得ないのです。伊達の水道事業につきましては、自己資金がありますので、借入というのはあまり考えなくて良いのです。もうひとつとして、なぜ伊達の方がこれだけ黒字になっているのかというのは、北電の伊達火発が大量に水を使っているということがあります。もしも北電が火発を止めた場合は非常に苦しい経営状況になる見通しとなっています。

○市民 火発に水というのは上水道を使っているのですか。

●市 はい。上水道を使っています。

○市民 何に使っているのですか。

●市 タービンを動かすために蒸気が必要となりますので、そのために水を使っています。

○市民 蒸気になる水が上水道ということですね。

●市 北電さんの地下水もありまして、それも使っています。それと先ほどの話の中で、伊達地区の料金設定が妥当なのかということですが、確かに経費回収率からすると120%

を超えており黒字になっております。その分の料金を安くできないのかということもありますが、黒字が出た分を施設の更新や配管の取替工事などに充当いたしますので、状況的には黒字でございますけれども、非常に儲けているという状況にはありません。

○市民 民生用と産業用の比率はどのくらいですか。

●市 大滝は家事用外が料金の8割程度です。伊達の方は資料を持ってきていないため、後日回答いたします。

○市民 自分で何を言っているか分からなくなった部分もありますが、料金を統一した時は大滝の水道施設、下水道施設の問題点が解消されて、少なくともこの後は値上げ、料金改定ということは起きないのですか。

●市 実際は、これで経営が成り立つのかということ、成り立つまでには至っておらず、やはり、一般会計から多額の繰入金を繰り入れなければ経営していけないということには変わりませんが、この料金体系を設定した場合は、単純な維持管理費くらいは賄えることになると思います。しばらくは、この統一後の料金体系を維持するしかないのかなと思っています。ただ、伊達自体が値上げした場合は付随して大滝も上がっていくということはあると思います。

●市 伊達の方の料金を値上げするということは今のところ考えておりません。

○市民 今のところ考えていないという返事で私は納得しておりません。

●市 市としても絶対に値上げしないとは言えません。

○市民 最初に言った10年前の合併時の話はどうですか。

●市 最終的な決断は、当時の理事者である市長と村長との間の話と聞いておりますが、合併した時に、このまま値上げすると大滝の影響が大きいので猶予する時間が必要だということと、もうひとつ猶予するきっかけになったのは、合併した時の特例というのがありまして、5年間は大滝村と伊達市でもらっている交付税を、それぞれ独立した状態で算定しますということになっており、その後5年間でひとつのまちとしての交付税の算定になりますということでした。ですから、5年間は大滝村時代の交付税を維持できたので、そのままの料金を続けて10年を目処に見直すということになりました。10年が経ち合併の時にもらっていた交付税のかさ上げ部分というのもなく、人口も増加していないので10年前の伊達市自体の交付税になりつつあるということで、このままでは財政が厳しくなるので今回料金の統一をお願いすることになりました。

それと伊達と大滝の下水道料金が非常に違っていますが、伊達市については、ある程度利用者から料金をいただいて維持管理費用を支払っていただくという考えの下に料金設定をしており、合併前から料金が高いという話がありました。ただ、今では他の町村も資料の10ページにあるとおり、下水道料金は値上がりしており、伊達市と変わらないくらいの料金設定になっています。細かい金額の内訳までは分かりませんが、最低でも電気代や薬品代などの維持管理費は料金収入で賄い、建設した時の借金分は一般会計からの繰入でやっていたという考えになっているのではと思います。

当時の大滝村は、下水道の加入率が低かったものですから、そういう考えは持っていませんでした。伊達と大滝の違いというのは、伊達は区域を決定して都市計画の中で下水道を整備するため、下水道に接続しなければならないという義務が発生します。それに対して、大滝の場合は、特環区域といいまして下水道への接続は任意になります。公営住宅ですとか公共施設だけは先に下水道へ接続しましたが、一般家庭については、任意なので下水道に接続しなくても法的には問題ありません。このような関係もあって、大滝の場合は最初から維持管理費を賄うという考えはなく、むしろ接続してもらうため

に、近隣市町村の中で一番安いレベルの料金設定をしました。また、当時は長流川が汚れているというのもありまして、下水道を整備することで川を浄化したいという思いもあったものですから、安い料金設定で運営していました。

○市民 今の話で、希望者だけ下水道に接続して、希望しない人は汲み取りだったり簡易便槽だったり個人が選べるということですね。

●市 大滝の中でもいまだに汲み取りの方もいらっしゃいます。

○市民 汲み取り式とか簡易便槽とかは、山間部の人で国道に沿って住宅がある所は下水道に接続していると思っていましたけどそうではないのですね。

●市 下水道事業が始まった時は、下水道に接続しないと言っていた方が隣家の水洗化を見たりして快適さを覚え、下水道に接続する時は土地の面積に応じた分担金というのが掛かりますが、その分担金や改造費用を支払って接続する方もかなりいました。

○市民 ある意味、村という行政組織が下水道を整備したというのは、言い方が変かもしれないが近代的な村だというように思ったんですけど、今言った国道沿いの家はほとんど下水道に接続していて普及率が高いような気がしていた。

●市 古い住宅ですとまだ接続していない所もあります。管が入っているのは、本町、優徳町、北湯沢温泉町、本郷町の一部については、下水道のエリア設定をしていますので、本管自体は入っていますが、引き込み管を入れていないところがあります。

○市民 ごく少ないのですか。

●市 少ないです。

○市民 下水の処理方法は、大滝と伊達市とで同じなのですか。

●市 処理方法は違いまして、伊達は標準活性汚泥法といいまして、最初に沈殿池があって、次に曝気槽といいまして微生物と空気を入れて混合させて、最後に沈殿槽があって上水を消毒して流して汚泥を引き抜いて処分する流れになりますが、大滝はオキシデーションディッチ法といいまして、先程の過程をひとつのプールみたいな所で行う方法でして、維持管理費が違うのではないかという話でしたが、資料の4ページをご覧いただきたいのですが、中段の大滝地区の下水道事業の表で汚水処理原価Aというところがありますが、平成26年度で381.39円/m³となっていますが、5ページの上段の伊達地区の下水道事業では363.21円/m³ということでそんなに大きな差はありません。

○市民 これは維持管理を外部委託しているので年々上がりますよね。

●市 現在は3年契約としていますので、年々上がるということはありませんが、3年後は、その時勢の単価で積算をしますので値上がりする可能性はあります。

○市民 あと使用料単価ですが、人口減少が2割だという話でしたが、どこに住もうが個人の自由ということで移動しているのと、病院施設が伊達市の方に移転して、大滝の施設がなくなり、そこら辺で人口の数だけいうと、それで減っている部分もかなりあるだろうと思っています。単純に人口が減っていますとひとことで言われたくない。それが今回のことと言えば収入減になってきて、経費に対しての収入が減りましたというそれだけの説明で料金改定の理由にされたくない。そういう風には思っています。ある意味、大滝で減った人がどこに行ったんだろうねという伊達地区に動いている。そういう傾向がある。その所をもっと重くという言い方ではないけれども、数字を捉まえる時に単に減った分、増えた分という表面の数字だけではなく、何故そうなったのかということが出てきた影響を理解して、それを考えないと、単に1,000人いる所が300人になった時に、統一料金にしてしまえば、伊達地区と大滝地区の問題はなくなるけど、他の事で公平性がありませんと言われた時、基本となる考え方の理由というか捉え方が一面的というか表面的すぎるのではないか。例えばさっき言った病院が大滝地区から伊達地区に行

った。また、施設に入所している人が伊達地区の病院に行った。全部ではないでしょうが。そういうことと、旧大滝村の職員が合併したことによって伊達地区に移転していくという現象があったりするので、そこが2割いますというその表面上の数字だけで引張られてひとつの根拠にされるのはどうかなあという気はある。

- 市 その関係につきましては、今ここで議論しても終わらないので、意見書というのがありますので、そちらに書いていただけませんか。今来ているのは水道と下水道の担当なので、その原因まで探れと言われても、そこまでできないので申し訳ありません。
- 市民 無駄口を言ってしまいましたけど、基本的には腑に落ちないという感じで今回の値上げについて受け止めさせていただきます。

5 その他（上下水道に関する日頃の疑問等を伺う）

- 市民 新料金は口径別になりますと書いていますが、この口径というのは任意に決められるものなのですか。
- 市 一般家庭の口径は13mmが基本で使われています。
- 市民 それは、家を1軒建てる時に何も条件を触れないで水道工事をした場合、自動的にそうなるのですか。
- 市 口径が大きくなると料金が上がりますので、一般的な家だとすると13mmあれば十分な水量をとれますので13mmを多く使っています。家が広いですとか水をたくさん使うという所では、20mm、25mmを使う場合もあります。
- 市民 口径の切り替えは、個人負担で行うものですか。
- 市 個人負担になります。

- 市民 先日停電がありましたけれども、今回は自宅の水道が止まらずに大変助かりましたが、職場の水道は停電とともに止まりました。どうしてでしょうか。
- 市 おそらく、職場の方は、一旦水を貯めて、建物内のポンプで水を動かしていると思いますので、内部の電源がないため水が止まったのではないかと思います。

- 市民 営農用水は、今回変わらないということですが、別な機会には検討されるということですか。
- 市 今のところ予定はありません。
- 市民 営農用水も水道事業の中に入っているのですか。
- 市 営農用水は、一般会計となっていますので、上下水道事業のような特別会計とは別の予算です。

(閉 会)